



2020年2月5日

各 位

会 社 名 東京応化工業株式会社
 代表者名 取締役社長 種市 順昭
 コード番号 4186 (東証第一部)
 問合せ先 広報部長 大橋 秀夫
 TEL. 044-435-3000

「ホワイト物流」推進運動に参画

東京応化工業株式会社(本社：川崎市中原区 / 社長 種市順昭、以下東京応化工業)は、国土交通省・経済産業省・農林水産省が提唱する「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、自主行動宣言を「ホワイト物流」推進運動事務局に提出しました。

■ 「ホワイト物流」推進運動・とは

深刻化が続くトラック運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長への寄与を目的とする運動です。トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化、女性や60代以上の運転者等も働きやすい「ホワイト」な労働環境の実現を目指します。2019年4月、国土交通省・経済産業省・農林水産省が、上場企業および各都道府県の主要企業約6,300社の代表者に対し、参加の呼びかけを開始しています。

■ 自主行動宣言の内容目的

当社が、自主行動宣言のなかで表明している主な取り組みは以下の通りです。

取組項目	主な取組内容 (抜粋)
物流の改善提案と協力	荷待ち時間の削減、付帯作業の合理化等について、真摯に協議し、自らも積極的に提案し改善に努めます。
パレット等の活用	パレット等を活用し、荷役時間を削減します。
発荷主からの入出荷情報等の事前提供	物流事業者や着荷主の準備時間を確保します。入出荷情報等を早めに提供します。
荷主側の施設面の改善	倉庫などの物流施設の集約・増設・レイアウト等を行い、荷待ち時間や荷役時間を短縮します。
働き方改革等に取り組む物流事業者の積極的活用	働き方改革や輸送の安全性の向上等に取り組む物流事業者を積極的に活用します。
荷役作業時の安全対策	安全な作業手順の明示、安全通路の確保、足場の設置等の対策を講じ労働災害の発生を防止に努めます。

東京応化工業は、取引先や物流事業者と連携のもと、「ホワイト物流」推進運動を通じ、企業の社会的責任の一環として、持続可能な物流の実現を目指します。

以 上